

令和3年度予算編成の重点施策は



宇津木 治宣



町長

コロナ対策を最優先課題とする

質問 第6次総合計画では、「暮らすなら、ここがいい。」と町が目指す将来像を定めた。令和3年度予算編成の重点施策は。

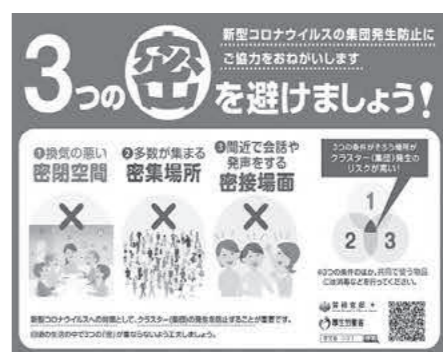
答弁 町長 新型コロナウイルス感染症対策の徹底を最優先課題とし、町民生活や地域経済が一日も早く回復するよう、戦略的な事業展開等に取り組んでいきたい。

感染予防対策の徹底を図れ

質問 町は「新しい生活様式」の実践例をホームページに掲載し、一部に配布しているが、広く児童・生徒や町民全般に広め、感染予防対策を徹底すべきだ。

答弁 町長 国から出された「新しい生活様式」等を、町ホームページや広報たまむら、メルマガなどを使って引き続き情報発信し、注意喚起を行っていく。

地域の医療・検査体制の整備を



新型コロナウイルス感染防止にご協力を

また、児童・生徒用には、子供たちが分かりやすい文字や絵で基本的な感染予防について書かれた「新しい学校生活様式」を各学校に配布した。これを活用し、感染予防の再確認をお願いした。

質問 かかりつけ医等に相談・受診できる体制の整備を。

答弁 町長 伊勢崎佐波地域では、令和2年11月1日から相談・診療・検査体制が変更となり、今まで以上に協力病院の体制が整った。発熱患者が、

公共施設の感染予防対策は

質問 町内の社会文化活動を守るためにも、各施設の感染予防対策の徹底を図るべきだ。

答弁 町長 町には、不特定多数の方が大勢集まる施設として、役場庁舎、文化センター、社会体育館があり、ほかにも様々な公共施設がある。

それぞれの施設において、手指消毒やマスクの着用、検温の実施といった基本的な感染予防対策に加え、利用者の特性等に沿った対応を実施し、感染予防に努めている。

子供食堂へのさらなる支援の考えは

質問 子供食堂はともよい取り組みだと思う。町として支援を充実させる考えはあるか。

答弁 町長 自治体として暮ら代と子供たちを放っておくことはできない。どういう形で応援できるか、一緒に考えていきたい。

子供のいじめ問題への取り組みは



久保留 美子



教育長

早期発見、早期対応に努める

質問 子供のいじめ問題について、いじめの報告件数及び解決に向けての対処方法、子供へのいじめ相談窓口とその周知方法は。

答弁 教育長 各学校からの「児童生徒の問題行動等に関する月例報告」では、今年度10月までで、76件のいじめ認知の報告がある。学校では「いじめの芽」や「いじめの兆候」も積極的にいじめと認知し、早期発見・早期対応に努めている。対処方法としては、複数の教員で丁寧聞き取りを行い、子供に寄り添った指導等を行っている。また、必要に応じていじめ防止対策委員会等を開き、組織的・継続的に対応している。子供たちが不安や悩みについて、誰かに相談できる力を身に付けることも大変重要である。「SOSの出し方教育」を推進する中で、「玉村町教育相談室」「24時間こどもSOSダイヤル」「群馬県警察本部少年サポートセ

行政の危機管理対策は

質問 災害に備えての行政の危機管理対応の基本は何か。

答弁 町長 行政の災害対応の基本については、町民の生命、身体及び財産を災害から守ることが最も重要と考える。被害を最小化し、被害の迅速な回復を図る減災を基本理念として、たとえ、被災したとしても人命が失われないことを最重視する。その上で、様々な対策を組み合わせて災害に備え、社会経済活動への影響を最小限にとどめていく。

